

育ちと学びをつなぐ架け橋期のカリキュラム編成に向けて

これからの幼保小連携・接続は…

今までと何が違うの？



	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年
実施単位	施設単位	地域単位



国が進めようとしているのが…

【**幼保小の架け橋プログラム**】です。
5歳から小1の**2年間**を「架け橋期」と位置づけ、すべての子供に、**学びや生活の基盤**を保障するため、自治体のリーダーシップのもと、カリキュラム開発会議等、**体制を整え**、架け橋期にふさわしい**カリキュラムを作成・評価**することで、**教育の充実・改善**を目指します。

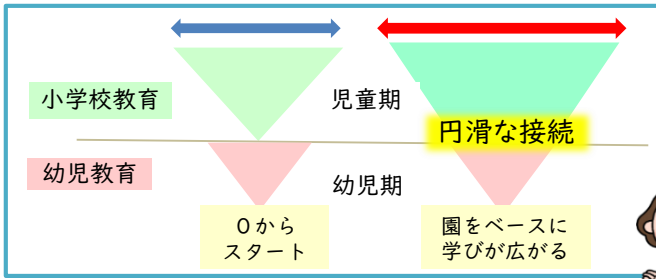
詳しくは、文部科学省のホームページへ！

幼保小の架け橋プログラム 検索

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）

令和4年3月31日
文部科学省

R5年度幼児教育の理解・発展推進事業（中央協議会）資料



円滑な接続がおこなわれると
子どもの学びがより大きくなりますね。

架け橋期のカリキュラム開発のためには

幼児教育・小学校教育の**相互理解**が欠かせません。



【その①】今、実施している交流・見学・体験について、**事前事後の対話**の機会を持ちましょう。

同じ**中学校区**の園・小学校の先生方も参観。

米子市

(崎津小学校区の取組)

①事前協議
(別日)

②公開保育(30分)

③保小交流(45分)

④事後協議(30分)



公開保育・交流での子供の姿をふまえ、ねらいにせまるための**効果的な環境の構成**や**援助**について協議。



【その②】**幼保小合同研修会**を実施し、「幼保小の架け橋プログラム」について学ぶとともに、**対話**を通して子供たちのことを共に語り合い、保育・教育の改善につなげていきましょう。

大山町

そうなんです。小学校の生活科では…



園では、全身で秋を楽しむことをねらって、自然物を使って遊んでいます。

園と小学校等で共通して実践していること(秋の遊び、話し合い活動)等、について対話し、**育ちと学びの連続性**を確認。

江府町

園では義務教育学校につながる姿がたくさん育っていますね。これから一緒に伸ばしていくためには…



「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」をふまえて子どもたちの実態を話し合い、町の「**架け橋期にめざす(期待する)子供の姿**」を協議。

オンラインで学ぼう架け橋期のカリキュラム!

ぜひ、参加をご検討ください!!

この研修を校区の園・小学校の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、今後の取組について話し合うとより効果的です。参加申し込みは、12月11日付けで小中学校課より通知しております開催要項等を御確認ください。



第2回幼保小連携・接続推進研修会(オンライン開催)

日時:令和6年2月5日(月)

午後1時15分から午後3時30分まで

内容:実践発表(米子市美保中学校区・若桜町)

指導助言・講義

國學院大学 田村 学 教授